



2026年2月期

決算説明資料

2026年4月14日

バリオセキュア株式会社 | 証券コード：4494

INDEX

目次

1. 会社概要
2. 2026年2月期 決算概要
3. 事業戦略




1. 会社概要

▶ 会社名	バリオセキュア株式会社 (Vario Secure Inc.)		
▶ 創業	2001年6月21日		
▶ 代表者	代表取締役社長 斧江 章一		
▶ 資本金	7億5,179万円		
▶ 従業員数	83名※		
▶ 所在地	本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル5F 大阪オフィス 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-2-19 福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-17		
▶ 事業内容	セキュリティBPOサービス インテグレーションサービス		
▶ 役員構成	代表取締役社長	斧江 章一	取締役 林 隆弘
	取締役	井口 圭一	取締役 森 博也
	取締役監査等委員	畑 敬子	取締役監査等委員 高橋 可奈
	取締役監査等委員	森脇 基	
▶ 親会社	HEROZ株式会社(持ち株比率約42%)		
▶ Web	https://www.variosecure.net/		
▶ 認証	ITSMS(ISO20000)、ISMS(ISO27001)、プライバシーマーク		
▶ 取引先	代理店:アルテリア・ネットワークス株式会社、NJCネットコミュニケーションズ株式会社、 株式会社オプテージ、KDDI株式会社、株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ、 ソフトバンク株式会社、ソニービズネットワークス株式会社、株式会社USEN ICT Solutionsなど		

※正社員、嘱託社員の合計

2026年2月末時点



The background features a light blue gradient with a large, faint number '2' on the right side. Overlaid on this are various grey circuit-like lines, nodes, and geometric shapes, including circles and rectangles, creating a technical or digital aesthetic.

2. 2026年2月期 決算概要

売上収益については、主に原材料やエネルギー価格の高騰に起因するコストの増加に対処するための価格改定(価格転嫁)、エンドポイントセキュリティのライセンス増加、ネットワークインテグレーションサービスの堅調な推移が寄与したことにより前年同期比で増収となり、営業利益および当期利益については増益となりました。重要な業績指標は概ね前年と同程度で推移しています。

決算ハイライト

IFRS (国際会計基準)



重要な業績指標



※1 エンドユーザー拠点数はVSRの拠点数

※2 通期解約率(金額ベース) = 年間解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 12ヶ月)

財政状態に大きな変化はなく、継続的な収益の積み上げと借入返済により、自己資本比率は増加しております。

(百万円)	2025年 2月期末	2026年2月期 2月期末	増減
資産合計	7,576	7,791	215
流動資産	1,568	1,868	300
非流動資産	6,008	5,922	△85
のれん	5,054	5,054	0
負債合計	1,684	1,521	△163
流動負債	616	704	88
非流動負債	1,067	816	△251
資本合計	5,891	6,270	378
負債及び資本合計	7,576	7,791	215

財務指標

	2025年 2月期末	2026年2月期 2月期末
のれん純資産倍率※1	0.86x	0.81x
有利子負債	1,100百万円	900百万円
負債比率※2	18.7%	14.4%
Net D / E レシオ※3	5.8%	△1.2%
Net D / EBITDA倍率※4	0.49x	△0.10x
自己資本比率※5	77.8%	80.5%

※1: のれん純資産倍率= のれん / 資本

※2: 負債比率= (短期借入金+長期借入金) ÷ 自己資本 × 100

※3: Net D/E レシオ= 純有利子負債 / 資本 (純有利子負債= 有利子負債残高(短期借入金+長期借入金) - 現金及び現金同等物(預金))

※4: Net D/EBITDA倍率= 純有利子負債 / EBITDA (EBITDA(償却前営業利益)は、金利や税、減価償却費を計上する前の利益)

※5: 自己資本比率= (自己資本 ÷ 総資本) × 100

IFRS (国際会計基準)

2026年2月期 サービス別業績

セキュリティBPOサービスは、既存の全顧客・代理店に対する価格改定の実施、エンドポイントセキュリティ(VarioマネージドEDR)のライセンス増加により前年同期比で増収となりました。

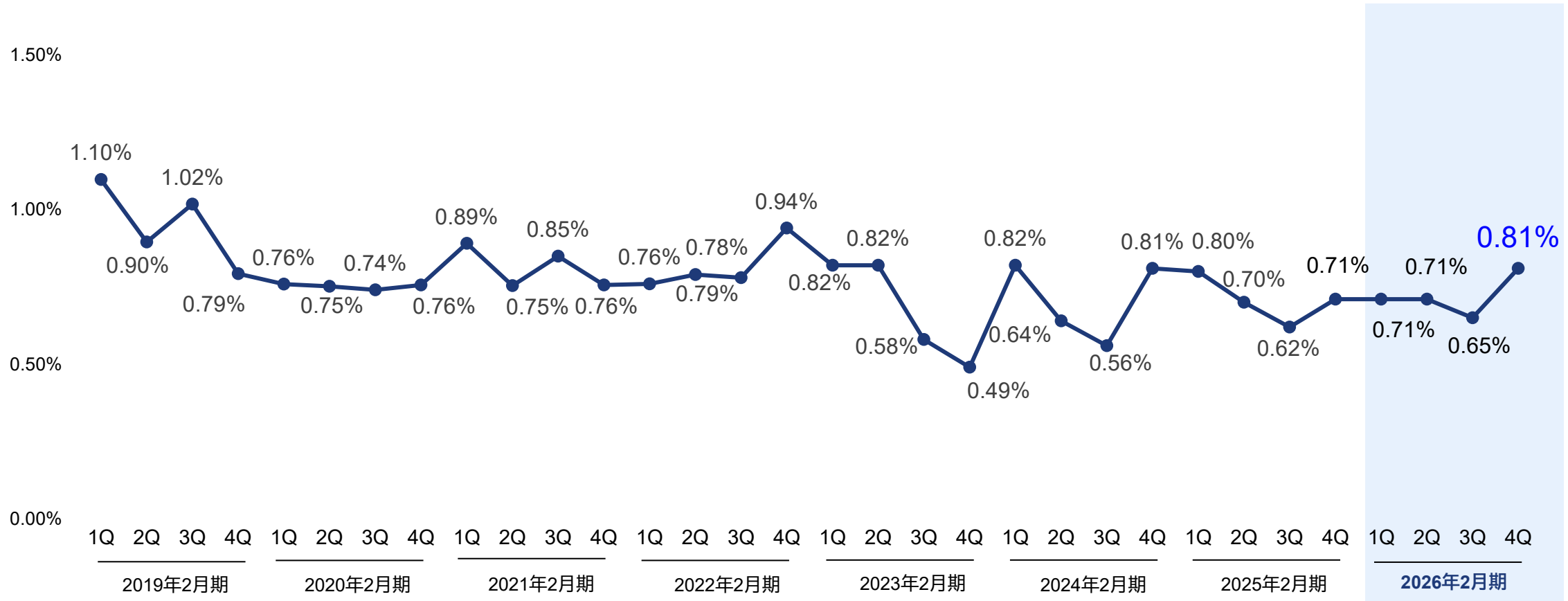
インテグレーションサービスは、中小企業向け統合セキュリティ機器販売が前年同期比で減収となりましたが、ネットワーク機器の構築を行うネットワークインテグレーションサービスが堅調に推移したことで前年同期比で増収となりました。

(百万円)	2025年2月期 実績	2026年2月期 実績	増減	2026年 2月期 通期計画	予算比
売上収益	2,667	2,842	+6.6% (+175)	2,810	101.1%
セキュリティBPOサービス※	2,344	2,490	+6.2% (+146)	2,487	100.1%
インテグレーションサービス	322	352	+9.0% (+29)	323	108.8%

※前事業年度において「マネージドセキュリティサービス」としていたサービスは、当事業年度より「セキュリティBPOサービス」に変更しております。当該変更は名称変更のみであります。

統合型インターネットセキュリティ(セキュリティBPOサービス)の解約率※は、1%以下の低い水準で継続して推移しています。

■ 四半期解約率の推移



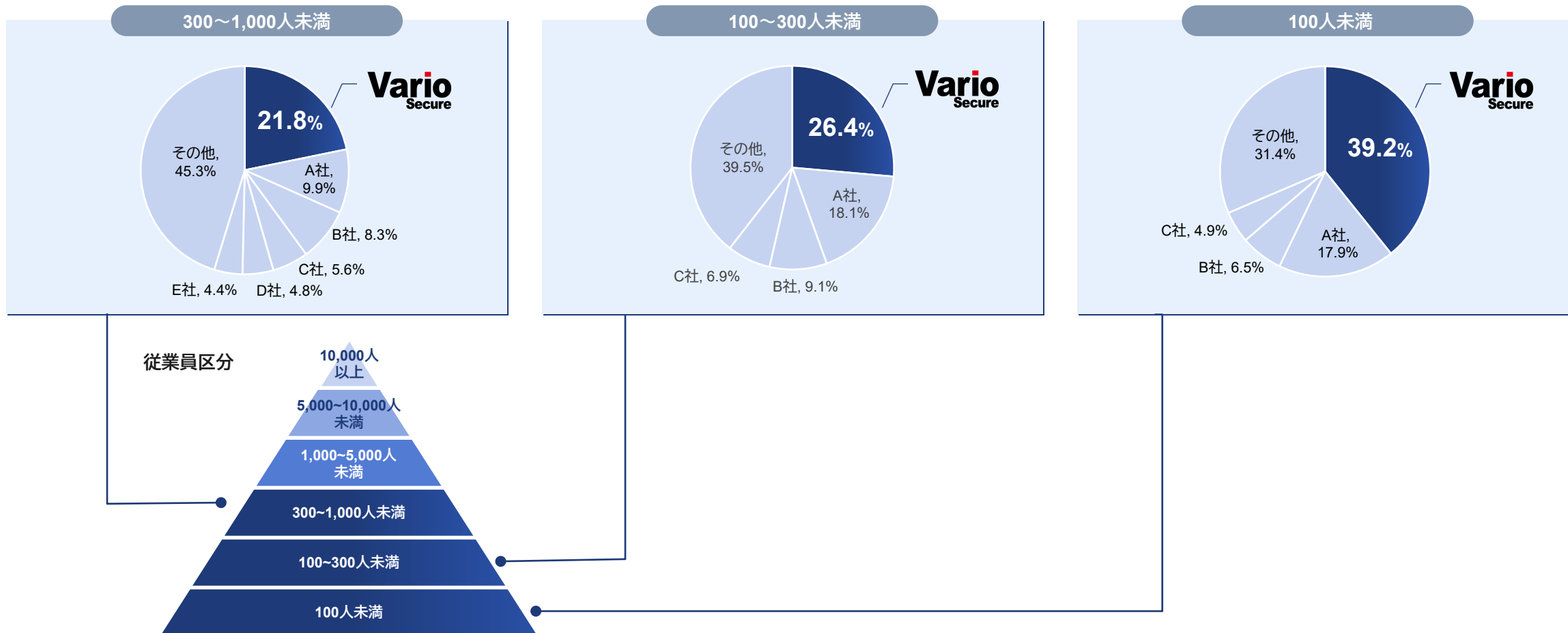
※: 解約率(金額ベース) = 四半期解約金額 ÷ (各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月)

The background features a light blue and white color scheme with a complex network of thin, grey circuit lines and nodes. A prominent horizontal band of a slightly darker blue color runs across the middle of the image. The overall aesthetic is clean, modern, and technological.

3. 事業戦略

ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場において従業員**1,000人未満**の企業では**トップシェア**です。

■ ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場ベンダー別売上金額シェア(2024年度)



出所: ITR「ITR MARKET VIEW ゲートウェイ・セキュリティ対策型SOCサービス市場2025」 ファイアウォール/UTM運用監視サービス市場(2024年度)

セキュリティ人材は、企業や組織の情報資産を守る重要な役割を担います。脅威が巧妙化・複雑化したことで、高度な知識やスキルを持った技術者は必須ですが、そのような人材確保は容易ではありません。しかもそのような人材が確保できたとしても、24時間/365日働き続けることができるわけではありません。

まるで常駐しているかのように、社内セキュリティ運用業務を丸投げできます

まるで常駐しているかのように

社内ネットワークセキュリティを監視します

- 当社提供のシステムの監視を24/365で実施
- 駆け付け対応が必要な場合は、全国どこでも4時間以内にオンサイト対応を開始します

まるで常駐しているかのように

細かく専門的なセキュリティ関連作業を実施します

- UTMのOSやセキュリティソフトのアップデート、アカウントの管理・ログの確認などを当社エンジニアが実施し、常に安心な状態を維持します

まるで常駐しているかのように

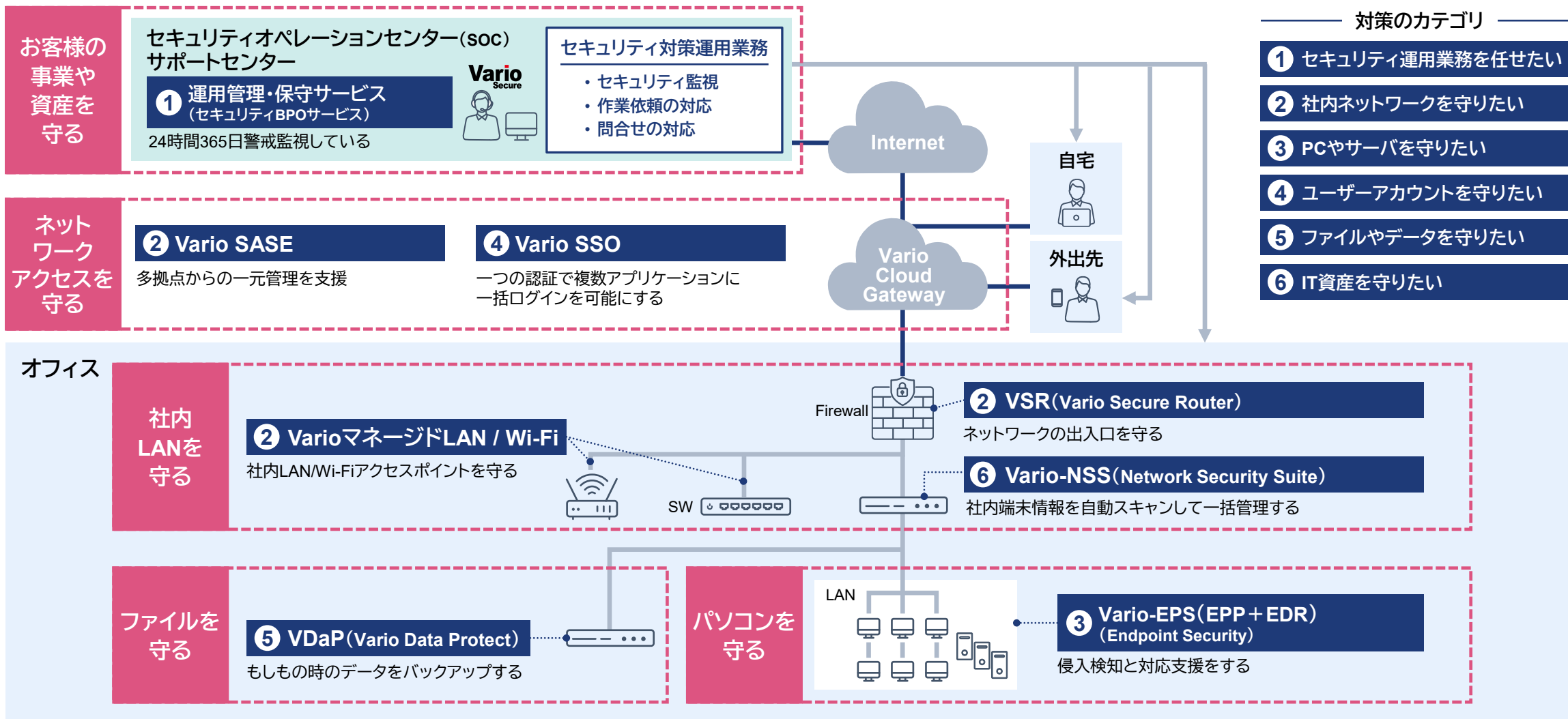
ご質問や疑問やお困りごとを解決します

- セキュリティに関する疑問や質問に常設のサポートセンターが対応します

今までセキュリティ対策ベンダーが実現できなかった
24H365日で常駐しているかのようなセキュリティ運用をBPOとして提供します

セキュリティ対策のポイントと対策カテゴリ

バリオセキュアでは、会社全体で必要となる「守るポイント」をサービスとして取り揃えております。



すべての中堅・中小企業に容易で高水準なセキュリティプラットフォームを届け、
社会の安全安心を支える唯一無二の存在となる

A large, bold, black, sans-serif logo for Vario Secure. The word "Vario" is on the top line, with a small red square above the letter "i". The word "Secure" is on the bottom line, centered under "Vario".

- 本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。
- 本資料における将来情報に関する記載は、作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報および第三者作成にかかる情報は、公開情報または第三者が提供する情報等から引用したものであり、そのデータ、指標、分析等の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行わず、何らその責任を負いません。